

磐田市 循環型社会形成推進地域計画

静岡県

磐田市

平成 25 年 1 月 8 日

磐田市

平成 26 年 10 月 29 日 変更

1. 地域の循環型社会を形成するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名：磐田市

面 積：164.08km²

人 口：166,112人（平成24年4月1日現在）

(2) 計画期間

本計画は、平成25年4月1日から平成30年3月31日までの5年間を計画期間とする。

なお、目標達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

また、生活排水処理基本計画（平成24年度～28年度）を循環型社会形成推進地域計画に代えて作成しており、今回の地域計画（平成25年度～29年度）の作成にあたり、平成24年度に係る生排計画の内容を盛り込んでいる。

(3) 基本的な方向

本市は、県下有数の工業都市であると同時に、日本有数のトンボの生息地「桶ヶ谷沼」をはじめ、豊かな自然環境を有している。主要河川には、1級河川の天竜川、2級河川の太田川、今之浦川、仿僧川があり、水質汚濁防止法や静岡県公害防止条例に基づき工場からの排水規制が行われている。また、太田川水系の水をきれいにする会が河川水質調査ほか河川美化の啓発事業等を行っている。

生活排水処理対策としては、公共下水道事業、農業集落排水処理事業及び合併処理浄化槽整備事業を推進しているところであるが、これらを利用していない家庭や事業所については生活排水を直接水路等に排水しているところもあり、河川水質の悪化が懸念される。

良好な生活環境と自然環境の保全を図るため、豊かな自然を育む河川、池沼等水域の環境保全は重要課題である。

したがって、生活排水による水質汚濁を防ぐため、生活排水対策の必要性等について住民に理解を求め、積極的に水質保全に取り組んでいく生活環境を築いていくことを目標とし、磐田市環境基本計画において望ましい環境像として掲げる「ともに学び ともに創る 水と緑の彩るまち いわた」の実現を目指していく。

(4) 広域化の検討

今回の施設整備にあたり、本市と隣接市町村との広域化について考えられるが、更新時期の相違や地理的要因などにより現状では困難であるとの結論に至り、本地域での単独整備を実施するものである。

なお、今後も引き続き広域化へ向けた協議・検討に取り組んでいくものとする。

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 生活排水の処理の現状

平成 23 年度の生活排水の処理状況及びし尿・浄化槽汚泥等の排出量は次のとおりである。生活排水処理人口は、全体で 166,122 人であり、水洗化人口は 130,352 人、污水衛生処理率 78.5% である。

し尿発生量は 5,350.7 kl/年、浄化槽汚泥発生量は 27,838.6 kl/年であり、処理・処分量 (= 収集・運搬量) は 33,189.3 kl/年である。

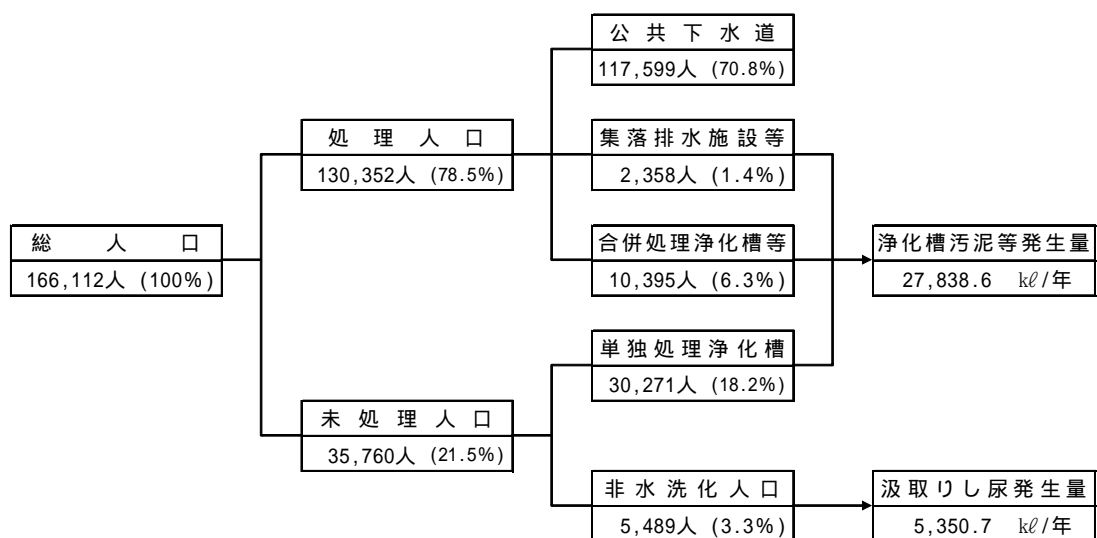


図1 生活排水の処理状況フロー [平成 23 年度]

(2) 生活排水処理の目標

生活排水処理については、表1に掲げるとおり、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

表1 生活排水処理に関する現状と目標

		平成23年度実績	平成30年度目標
処理形態別人口	公共下水道	117,599 人 (70.8%)	123,590 人 (74.8%)
	農業集落排水施設等	2,358 人 (1.4%)	2,537 人 (1.5%)
	合併処理浄化槽等	10,395 人 (6.3%)	13,945 人 (8.4%)
	未処理人口	35,760 人 (21.5%)	25,255 人 (15.3%)
合 計		166,112 人	165,327 人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	5,351 kl	1,205 kl
	浄化槽汚泥量	27,839 kl	27,047 kl
	合 計	33,189 kl	28,252 kl

3. 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア 生活排水対策

家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、家庭でできる簡単な生活雑排水対策例を紹介するなどの啓発活動を行う。また、下水道、農業集落排水区域内の地域については、継続して下水道、農業集落排水施設への接続を推進し、区域外については、汲取りや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進する。

(2) 処理体制

ア 生活排水処理の現状と今後

公共下水道及び農業集落排水処理施設による生活排水処理を基本とし、その計画的整備と接続の推進に努めると共に、公共下水道等の整備を行う予定がない区域については、合併処理浄化槽による生活排水処理を促進する。

また、し尿・浄化槽汚泥の処理については、「磐田市衛生プラント」を汚泥再生処理センターとして整備し、汚泥等を有効利用することにより、循環型社会の形成を図る。

イ 今後の処理体制の要点

「磐田市衛生プラント」を汚泥再生処理センターとして整備することとし、汚泥等を有効利用することにより、循環型社会の形成を図る。

公共下水道等の整備を行う予定がない区域については、合併処理浄化槽による生活排水処理を促進する。

(3) 処理施設等の整備

ア 廃棄物処理施設

表2のとおり必要な施設整備を行う。

表2 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	汚泥再生処理センター	汚泥再生処理センター整備事業	98 kℓ/日	静岡県磐田市千手堂2066番地2	平成26～27年度

(整備理由)

事業番号1 「磐田市衛生プラント」は昭和63年度に供用開始し、大規模修繕工事を経て現在に至っているが、汚泥再生処理センターとして整備し、汚泥等を有効利用することにより、循環型社会の形成を図る。

イ 合併浄化槽の整備

合併浄化槽の整備については、表3のとおり行う。

表3 合併処理浄化槽への移行計画

事業番号	事業	事業主体	直近の整備済基数(基) (平成23年度)	整備計画基数(基)	整備計画人口(人)	事業期間
2	浄化槽設置整備事業	磐田市	147基	850基	3,550人	平成24～28年度

注)生活排水処理基本計画(平成24年度～28年度)を循環型社会形成推進地域計画に代えて作成しており、今回の地域計画(平成25年度～29年度)の作成にあたり、平成24年度に係る生排計画の内容を盛り込んでいる。

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3) の施設整備に先立ち、表 4 のとおり計画支援事業を行う。

表 4 実施する計画支援事業

事業概要	事業名	事業内容	事業期間
3 1	事業番号 1 に係る調査・設計業務	工事発注支援等業務	平成 25 年度

4 . 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

磐田市は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、静岡県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

添付資料

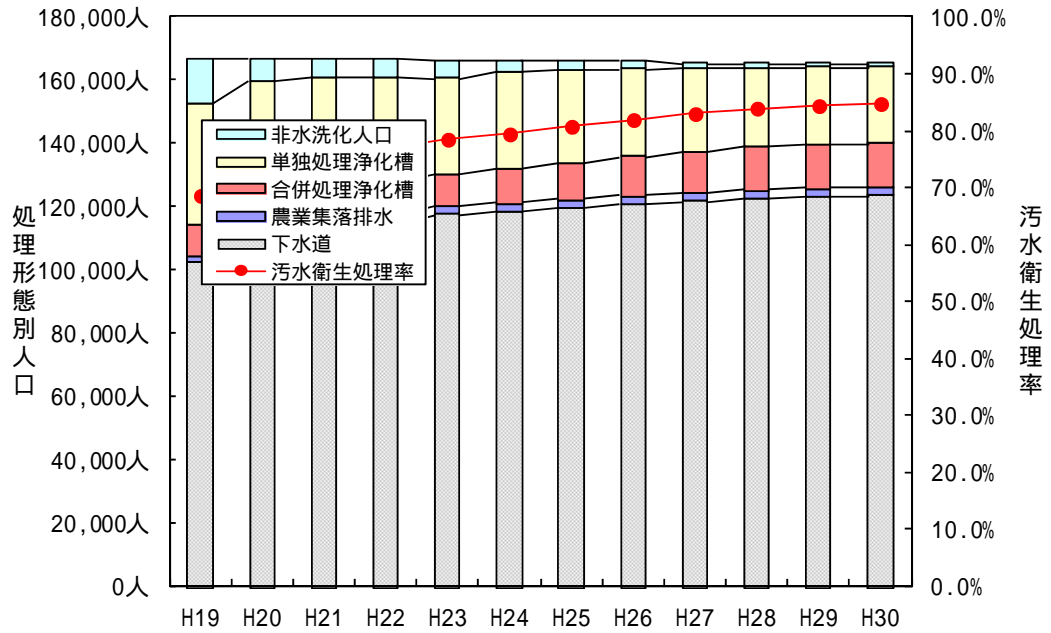


図1 処理形態別人口・污水衛生処理率の推移

3 生活排水処理の現状と目標

(単位：人)

指標・単位		実績値						目標
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成30年度
総人口		167,027	166,991	166,918	166,456	166,112	集計中	165,327
公共下水道	汚水衛生処理人口(人)	102,592	108,563	111,018	114,739	117,599	集計中	123,590
	汚水衛生処理率(%)	61.42	65.01	66.51	68.93	70.80	集計中	74.75
集落排水施設等	汚水衛生処理人口(人)	1,629	2,196	2,833	2,312	2,358	集計中	2,537
	汚水衛生処理率(%)	0.98	1.32	1.70	1.39	1.42	集計中	1.53
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口(人)	10,371	10,663	10,761	11,091	10,395	集計中	13,945
	汚水衛生処理率(%)	6.21	6.39	6.45	6.66	6.26	集計中	8.43
未処理人口	汚水衛生処理人口(人)	52,435	45,569	42,306	38,314	35,760	集計中	25,255

4 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年月	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	磐田市	3,794	8,800	平成17年	850	3,550	平成28年	

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(平成25年度)

事業種別	事業番号	事業主体名	規模		事業期間 交付期間		総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考		
			単位		開始	終了	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度			
○し尿処理に関する事業							864,540	0	183,100	681,440	0	0	657,997	0	134,628	523,369	0	0	
汚泥再生処理センター 整備事業	1	磐田市	98	kℓ/日	H26	H27	864,540	0	183,100	681,440	0	0	657,997	0	134,628	523,369	0	0	
							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
○浄化槽に関する事業							259,000 ※	64,750	64,750	64,750	64,750	0	225,760 ※	56,440	56,440	56,440	56,440	0	
浄化槽設置整備事業	2	磐田市	850	基	H24	H28	259,000	64,750	64,750	64,750	64,750	0	225,760	56,440	56,440	56,440	56,440	0	
○施設整備に関する 計画支援に関する事業							17,682	17,682	0	0	0	0	17,682	17,682	0	0	0	0	
し尿処理施設							17,682	17,682	0	0	0	0	17,682	17,682	0	0	0	0	
工事発注支援等業務	31	磐田市			H25	H25	17,682	17,682	0	0	0	0	17,682	17,682	0	0	0	0	
合 計							1,141,222	82,432	247,850	746,190	64,750	0	901,439	74,122	191,068	579,809	56,440	0	

※浄化槽設置整備事業については、平成24～28年度の事業期間であるが、本計画期間に合わせて平成25～29年度分の事業費(のみ)を記載しているため参考様式5に示す総事業費と一致しない。

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称	施策の内容	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考
					開始	終了		平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	
発生抑制、 再使用の推 進に関する もの	11	生活排水対策	排水対策等の周知徹底	磐田市	H 25	H 29		普及啓発					
処理施設の 整備に関す るもの	1	汚泥再生処理センター 整備事業	汚泥の有効利用を配慮し た循環型社会の形成を目 指した施設整備事業	磐田市	H 26	H 27		整備工事					
	2	浄化槽 設置整備事業	設置整備事業	磐田市	H 24	H 28		合併浄化槽整備					
施設整備に 係る計画支 援に関する もの	31	1 の計画支援	発注支援等業務	磐田市	H 25	H 25		発注支援 等業務					

生活排水処理基本計画（平成24年度～28年度）を循環型社会形成推進地域計画に代えて作成しており、今回の地域計画（平成25年度～29年度）の作成にあたり、平成24年度に係る生排計画の内容を盛り込んでいる。

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	磐田市
(2) 施設名称	磐田市衛生プラント
(3) 工期	平成 26～27 年度
(4) 施設規模	処理能力 98 kl/日（交付対象規模：84 kl/日）
(5) 形式及び処理方式	前処理・前脱水処理（下水道放流）
(6) 地域計画内の役割	施設を汚泥再生処理センターとして整備し、汚泥を有効利用することにより循環型社会の形成を図る。
(7) 廃焼却施設解体 工事の有無	有 無

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	汚泥の助燃剤化
(9) 資源化物の利用計画	都市ごみ施設などで助燃剤として利用し、化石燃料使用量の低減を図る

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口及び 面積	人口 人 面積 m ²
(11) 地域計画の性格	

(12) 事業計画額	864,540 千円
------------	------------

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	磐田市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	下水道認可区域及び農業集落排水処理区域を除く地域について、水質保全のため合併処理浄化槽の設置する者に事業に要する経費に対して補助を行う
(4) 事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度
(5) 事業対象地域の要件	浄化槽設置整備事業実施要領の第 3 (1) ア (キ) に該当する地域
(6) 事業計画額	交付対象事業費 282,200 千円 うち (以下の事業を実施する場合) ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費 千円

生活排水処理基本計画（平成 24 年度～28 年度）を循環型社会形成推進地域計画に代えて作成しており、今回の地域計画（平成 25 年度～29 年度）の作成にあたり、平成 24 年度に係る生排計画の内容を盛り込んでいる。

事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業】

区 分	交付対象基数 (3,550 人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5 人槽	425 基 (1,275 人分)	基	141,100 千円	141,100 千円	141,100 千円
6～7 人槽	375 基 (1,875 人分)	基	155,250 千円	124,500 千円	124,500 千円
8～10 人槽	50 基 (400 人分)	基	27,400 千円	16,600 千円	16,600 千円
11～20 人槽	基 (人分)	基	千円	千円	千円
21～30 人槽	基 (人分)	基	千円	千円	千円
31～50 人槽	基 (人分)	基	千円	千円	千円
51 人槽以上	基 (人分)	基	千円	千円	千円
改 築	基				
計画策定調査費					
合 計	850 基 (3,550 人分)	基	323,750 千円	282,200 千円	282,200 千円

事業対象地域が「経済的・効率的である地域」の場合の経済性・効率性の比較

（複数の地区が該当する場合は、当該地区ごとに下表を添付すること）

市町村総人口 _____ 市町村世帯数 _____
対象地域人口 _____ 対象地域世帯数 _____

	総建設費	1 年当たり 建設費	1 年当たり 維持管理費	1 年当たり コスト
集合処理で整備した場合				
個別処理で処理した場合				

施設比較検討の積算内容資料を添付（様式は自由）

計画支援概要

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	磐田市				
(2) 事業目的	_____ 汚泥再生処理センターとして整備するため				
(3) 事業名称	事業番号 1 にかかる発注支援等業務				
(4) 事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 25 年度				
(5) 事業概要	汚泥再生処理センター整備工事のための基本設計、生活環境影響調査及び工事発注支援を行う。				
(6) 事業計画額	17,682 千円				

